

2023年5月25日
日本調剤株式会社

業界初^{※1}の“550円(税込)均一”OTC医薬品シリーズ 日本調剤のプライベートブランド『5COINS PHARMA』が誕生

全国47都道府県で調剤薬局を展開する日本調剤株式会社(本社所在地:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:三津原 庸介、以下「日本調剤」)は、セルフメディケーションの推進を目的に、OTC医薬品のプライベートブランド(PB)「5COINS PHARMA(読み:ファイブコインズファルマ)」を新たに展開いたします。「5COINS PHARMA」はOTC医薬品では業界初(当社調べ)の価格均一ブランドで、解熱鎮痛薬や胃腸薬、トローチなど14品目すべてを税込550円で販売します。

5月25日よりヘルスケア通販サイト「日本調剤オンラインストア」(<https://store.nicho.co.jp/>)で、6月1日より全国の日本調剤の店舗でご購入いただけます。

※1 当社調べ



日本調剤では、「すべての人の『生きる』に向き合う」という揺るぎない使命のもと、処方箋をお持ちの患者さまの支援に限らず、OTC医薬品や健康食品(サプリメントなど)を活用したセルフメディケーションのサポートも積極的に行なっています。

(セルフメディケーション:自分自身の健康に責任を持ち、軽い身体の不調は自分で手当てするという考え方のこと)

セルフメディケーションの推進にあたり、OTC医薬品が処方薬と比較してそれほど安くはない傾向にあることが一つの課題であると考えていました。「価格面でのハードルを下げ、ご自身の健康のために本当に必要なOTC医薬品を選んでいただきたい」という思いから、手頃で分かりやすい値段のOTC医薬品ブランドの開発に着手いたしました。品質と有効成分量にこだわった上で、自社PBだからこそできるお手頃価格、「税込550円均一」を実現しました。

他に服用中のお薬・サプリメントがある場合など、ご購入に迷った場合も、日本調剤の薬剤師や登録販売者のサポートを受けながら商品をお選びいただけます。またお伺いした症状から、医師への受診が必要と薬剤師が判断した場合、適切な医療機関をご紹介します体制も整えておりますので、お気軽にご相談ください。

日本調剤は「5COINS PHARMA」の販売を通じて、皆さまのかかりつけ薬局として、未病・予防の段階から薬物治療に至るまでさまざまな場面で健康をサポートいたします。

■「5COINS PHARMA」3つのポイント

1.全品 550 円！業界初の価格均一 OTC 医薬品ブランド

成分の種類や量にこだわり、薬剤師が自信を持っておすすめできる品質を確保した上で、製造・流通過程のコストを削減し、全品 550 円(税込)というお手頃価格を実現しました。もちろん、商品選びや購入後のフォローは日本調剤の薬剤師・登録販売者が実施するので、安心してご使用いただけます。

2.常備薬としても使いやすい 14 品目をラインアップ

全国の日本調剤での販売実績から、お客さまからのニーズの高い品目を抽出。災害時や急な体調不良のための常備薬としても活用いただきやすい14品目を揃えました。

品目は今後随時追加予定です。

3.イラスト入りで効能・効果が分かりやすいパッケージ

シンプルな白地に効能・効果の文言とイメージイラストを大きく配置し、誰が見ても分かりやすいパッケージとしました。



■商品一覧

【日本調剤オンラインストアでのご購入はこちらから】

<https://store.nicho.co.jp/special/5coinspharma/>

商品名称	リスク分類	薬効分類
ロキソプロフェン錠「RX」	第1類医薬品	解熱鎮痛薬
アセトアミノフェン E 錠	第2類医薬品	解熱鎮痛薬
トピック鼻炎カプセル	指定第2類医薬品	鼻炎用内服薬
アズセグローチ	第3類医薬品	口腔咽喉薬(せき、たんを標榜しないトローチ剤を含む)
のどスプレーAZC	第3類医薬品	口腔咽喉薬(せき、たんを標榜しないトローチ剤を含む)
睡眠改善薬「DS」錠	指定第2類医薬品	催眠鎮静薬
ベッセン H2 錠	第1類医薬品	ヒスタミン H2 受容体拮抗剤含有薬
サーボン胃腸薬	第3類医薬品	制酸薬
アイン口内軟膏 A	指定第2類医薬品	口内炎用薬
BT エイトクリーム	指定第2類医薬品	みずむし・たむし用薬
ノンカミュール	指定第2類医薬品	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬(パップ剤を含む)
ラクピオン S	第3類医薬品	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬(パップ剤を含む)
ロキプフェンテープ	第2類医薬品	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬(パップ剤を含む)
ロキプフェンテープ L	第2類医薬品	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬(パップ剤を含む)

■本取り組みが該当する日本調剤グループのマテリアリティ

(重要課題グループ)	(マテリアリティ)
【A】 医療のクオリティとアクセシビリティ	2. 未病・予防など地域の健康をサポートする薬局機能の拡張
【B】 医薬品の品質と安定供給	
【C】 医療機関の人的課題の解消	
【D】 カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの寄与	
【E】 多様な人材の育成と活躍	
【F】 社会的責任を果たすためのガバナンス強化	

日本調剤グループは公正で透明性の高い経営基盤の構築を目指し、また、事業活動を通じた医療・ヘルスケア分野における社会課題の解決に取り組むために、マテリアリティを特定しています。日本調剤グループのサステナビリティの取り組みはこちらをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/>

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【日本調剤株式会社について】 <https://www.nicho.co.jp/>

1980年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うすべく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行っています。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し約4,000名の薬剤師を有する、日本を代表する調剤薬局企業として評価を得ています。また、ジェネリック医薬品の普及や在宅医療への取り組みだけでなく、早くからICT投資を積極的に進めており、超高齢社会に必要とされる良質で革新的な医療サービスの提供を行ってまいります。

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3201-1510

E-Mail: pr-info@nicho.co.jp